

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330341100	保育内容（表現）造形の指導法Ⅱ	伊藤 久美子	✓		1	選択	2前期

## 科目の概要

本科目では、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「表現」のねらいと内容をふまえ、乳幼児の表現の理論、技術、援助方法を習得します。日々の生活のさまざまな場面で表現される子どもの一人ひとりの姿を受容して理解し、子どもの表現を通じた成長を支える専門性を身に付けます。また、様々な表現を体験しながら、保育者として必要な感性や表現力を磨きます。（DP⑤）幼稚園教諭として6年間保育現場で勤務した経験を活かし、保育の具体的な表現遊びの場面の指導方法について、事例をもとに講義・演習を行います。DP①、③の実現を目指した意欲的な学修と自己課題の明確化により、豊かな表現力を身に付けた保育者を目指します。

学修内容	到達目標
① 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 ② 保育者として必要な保育の表現活動の基礎知識と実践方法を様々な視点から理解する。 ③ 表現活動の実践を通して、子どもの表現を理解し、表現の楽しさを体験的に学ぶ。 ④ 子どもの豊かな表現を導き出す保育計画を学ぶ。	① 領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を理解することができる。 ② 保育の場面に即した表現活動をグループで考察し、発表できる。 ③ イメージしたものを表現する楽しみを体験し、子どもの表現指導の方法を実践できる。 ④ 子どもの豊かな表現を導き出す保育計画を立案することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。
考え抜く力	課題発見力	現代における子どもを取り巻く現状を、文献およびさまざまな媒体を利用して情報収集して整理し、保育における課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	子どもの発達を理解し、身につけた保育の知識や技術を取り入れた保育の方法をさまざまな観点から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手に分かりやすい発表の仕方（声の大きさ、スピード等）や話すポイントが整理され発表することができる。
	傾聴力	発表者の意見を共感的に受け止めて、その上で自分の考えを伝え、発展的なコミュニケーションができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。

参考文献：保育所保育指針解説書、幼稚園教育要領、幼稚園教育要領解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書

【別府大学・別府大学短期大学部】

<https://www.beppu-u.ac.jp/oer/ocw/songs/57.html>

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：

保育内容「表現A」（330321061）は、学科専門科目の幼・保領域「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられ、保育内容総論、保育内容（音楽）、保育内容（表現・演劇）の基礎となる科目である。

また保育内容「表現A」は、幼稚園教諭免許・保育士資格に必要な科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
日頃から様々な事象に触れ、想像力を働かせるように意識すること。 考えや思いを外に表し、他者とのコミュニケーションを深めていけるように心がけること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。</li> <li>・無断欠席、遅刻をしないように心がけること。また、課題の提出期限を守ること。</li> <li>・グループのメンバーと協力しながら積極的に授業に取り組むこと。</li> <li>・携帯電話は必要などき以外は鞆の中にしなうこと。</li> </ul>

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
				④		
	レポート		10	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		80	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を十分に理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を自分の言葉でわかりやすく説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、自分の意見と他人の意見を融合させて討議を重ね、内容を精査して発表ができる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもが興味をもつ表現指導の方法を自身も楽しみながら表現豊かに実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す活動を十分に理解し、保育の場面や子どもの年齢に合ったねらいをもとに保育計画を工夫して立案することができる。</p> <p>(A)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を十分に理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を自分の言葉で説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、意見をもとに内容を精査して発表ができる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもが興味をもつ表現指導の方法を自身も楽しみながら実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す活動を理解し、子どもの年齢に合った保育計画を工夫して立案することができる。</p>	<p>(B)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を自分の言葉で説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、意見をまとめて発表できる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもが興味をもつ表現指導の方法を実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す活動を理解し、保育計画を工夫して立案することができる。</p> <p>(C)</p> <p>①領域「表現」のねらいと内容を理解し、子どもの表現に必要な環境構成と援助の方法を説明することができる。</p> <p>②保育の場面に即した表現活動をグループで協同的に考察し、発表できる</p> <p>③イメージしたものを表現する楽しみを体験して理解し、子どもの表現指導の方法を実践できる。</p> <p>④子どもの豊かな表現を導き出す保育計画を理解して立案ができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・授業の進め方 ・領域「表現」のねらいと内容について理解する。 ・子どもの興味・関心を知る保育者の表現について理解する。 ・言葉の表現の重要性について、遊びを通して体験する。	講義・演習 Google classroomにて課題、フィードバック	講義の内容、授業の進め方について理解できる。言葉で表現することの意義を理解する。	(予習) 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育保育要領の領域「表現」のねらいと内容を読み授業に臨む。 (復習) 得意な表現と苦手な表現について自身の表現の特性をまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	子どもの舞台表現について ・パネルシアターの鑑賞を通して、表現する際の注意点を知る。 ・舞台表現指導の方法について学ぶ。 ・身体表現を応用した子どもの遊びを実践する。	講義・演習 Google classroomにて課題、フィードバック	子どもの舞台表現の種類や指導方法、活動のねらいと保育者の援助について理解することができる。	(予習) 自分が幼少期の頃の舞台表現の経験を振り返り、内容を整理する。 (復習) 身体表現としての遊びの方法をまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	作って遊ぶ①(教材研究と計画) ・子どもの衣装をデザインして構成を検討する。	講義・演習 グループワーク ディスカッション Google classroomにて課題、フィードバック	子どもの表現を引き出す舞台衣装について理解することができる。	(予習) 子どもの舞台衣装について調べる。 (復習) グループワークの討議の内容をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	作って遊ぶ②(発表と評価) ・体の構造を理解して、新聞紙を使って衣装を製作する。 ・グループで製作した衣装を発表する。	演習 発表 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	舞台を想定した衣装を製作して、音楽に合わせて発表することができる。	(予習) 発表する際の演出についてBGMを検討して準備する。 (復習) 発表の振り返りと課題をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	領域「表現」のねらいと指導計画の立案について ・指導計画に基づく表現指導の方法を、事例を挙げて実践する。	講義 演習 Google classroomにて課題、フィードバック	子どもの自由な表現を引き出す保育者の援助の方法と指導計画の立案を理解できる。	(予習) 保育現場で実際に指導したい保育の内容を検討する。 (復習) 指導計画作成のポイントをまとめる。	120	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
6	表現活動における援助・指導方法の検討(模擬保育) ・造形指導の模擬保育を実践する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	表現活動を立案する際の保育のねらいを理解し、援助・指導の方法を実践できる。	(予習) 授業の内容を振り返り、得意な表現と苦手な表現を改めて整理しておく。 (復習) 授業で体験した遊びの指導方法を振り返る。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	造形指導の方法①粘土を使った製作(1) ・紙粘土を使ってプレゼントを製作する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	紙粘土を利用し、その特性を活かした作品を製作して表現することができる。	(予習) 紙粘土の活用したプレゼントのデザインする。 (復習) 保育における紙粘土製作の応用を考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	造形指導の方法②粘土を使った製作(2) ・紙粘土を使ってプレゼントを製作し着色する。	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	紙粘土を利用し、その特性を活かした作品を製作して表現することができる。	(予習) 紙粘土の着色方法とデザインを考える。 (復習) 保育における紙粘土製作の応用を考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	舞台表現サウンドアートの実践① ・サウンドアートの題材を検討する。	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	砂を使った遊びの重要性を理解し、砂遊びの特性を活かした表現ができる。	(予習) サウンドアートの実践動画を視聴して、描画の方法を調べておく。 (復習) グループワークで討議した内容をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	舞台表現サウンドアートの実践② ・サウンドアートのストーリー構成と描画、音楽を検討し、決定する。	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	決定した題材をもとに、グループで構成を考えることができる。	(予習) グループ討議でまとめた内容から、構成のアイデアを整理しておく。 (復習) 自分が担当するパートの練習をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	舞台表現サウンドアートの実践③ ・サウンドアートの発表準備と練習	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	音楽がもたらす演出効果を理解し、グループで協力しながら音楽に合わせて練習をすることができる。	(予習) 改善・修正点を検討し、自分の担当パートの練習をする。 (復習) 修正点を確認して、練習する。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	舞台表現サウンドアートの実践④ ・サウンドアートの発表準備と練習	演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	グループで協力しながら練習した技術を十分に発揮し、表現を楽しみながらサウンドアートの発表ができる。	(予習) 全体の流れを把握して、練習する。 (復習) 修正する部分を確認し、全体を通して演じる練習をする。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	舞台表現サウンドアートの実践⑤ ・サウンドアートの発表と振り返り	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	グループで協力しながら練習した技術を十分に発揮し、表現を楽しみながらサウンドアートの発表ができる。	(予習) 全体の流れを把握して、練習する。 (復習) サウンドアートの取り組みの振り返りと学びについてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	身近な素材を活用した造形表現 ・身につける造形活動	講義・演習 グループワーク Google classroomにて課題、フィードバック	身近な生活素材を活用した作品を工夫して作成することができる。	(予習) デザインを考えて必要な材料を準備する。 (復習) 保育で活用する方法を考える。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	造形の表現活動における援助・指導方法 ・保育者に必要な表現指導の技術と、実践から得た学びを振り返る。	講義・演習 Google classroomにて課題、フィードバック notebook LM	保育者として必要な表現力とは何か考察し、今後に向けた自己課題を明確にできる。 表現活動を立案する際の保育のねらいを理解し、援助・指導の方法をまとめることができる。	(予習) 授業の内容を振り返り、得意な表現と苦手な表現を改めて整理しておく。 (復習) 授業で体験した遊びの指導方法をまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力